

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		庁舎管理費 [節電対策]										
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	1				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	総務管財			課			庶務			係	課長名	岩本 尚史
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2				
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	庁舎での電気の使用量			電力量(kWh)								
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
	電気の使用量を前年と比較して削減する。			前年と比較した電力量の割合 (当年度の電力量/前年度の電力量) × 100%								
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	①空調の起動抑制 ②空調の設定温度を夏は28℃、冬は19℃に設定 ③クールビズ、ウォームビズの推進			①夏季は室温が28℃以上、冬季は服装で調節し適宜起動 ②③クールビズは5月～10月、ウォームビズは12月～3月								
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	kWh	681,784	677,303	720,735						
	成果指標	②の数値	%	98	99	106.4						
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方									
3 経費	事業費(実績)		円	13,524,994	13,699,829	14,848,442	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	13,524,994	13,699,829	14,848,442						
		特定財源	円	0	0							
	(うち受益者負担)		円	0	0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5時間	5時間	5時間						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	21,500	21,500	21,500						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	13,546,494	13,721,329	14,869,942							
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明										
	(2) 環境の変化	平成23年の東日本大震災により、東京電力の発電所に大きな被害が発生したことから、電力供給の安定化に資するために開始した。 また、地球温暖化の防止や経費の削減も目的としている。 不用電灯の消灯や、空調のコントロールにより節電対策開始当初より使用電力が削減された。また、PPSの導入及び電力自由化の活用で、電気料金も削減された。										

事業名称	庁舎管理費 [節電対策]			
担当部署・課長名	総務管財	課	庶務	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(2)を転記)	
	節電のための取り組みをより一層推進させる。 使用電力を抑制しつつ良好な環境を維持するには、電気・空調・給排水設備の計画的な更新が必要である。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等